

1 市の概要（H30年度）

人口	78,447 人
保護率	0.63%

2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当 (件) 一月当たり	8.4
プラン作成件数人口10万人当 (件) 一月当たり	2.4
就労支援対象者数人口10万人当 (件) 一月当たり	2.4
就労・増収率(%)	69.6

4 事業実績（H30年度）

実利用者数

11人(H31.3月時点利用者数)

※上記11人（中学3年生）は、全員が高校進学

3 実施方法について

実施方法	直営
事業費	1,920千円（平成30年度）
理由 (直営)	○事業実施方法について検討した結果、本市は6市町村が合併したことにより地域が広域化しており、参加希望者が点在し、「拠点型」では開催場所の設定が困難なため、「訪問型」で実施することとした。 ○事業実施に当たり、NPO等委託事業者を募集し調整したが、「訪問型」で受託可能な事業者がなく、直営で学習支援員を募集し、事業を開始した。
事業概要	○生活保護世帯の中学生及び児童扶養手当受給世帯の中学3年生を対象とし、学習支援員が利用者の家庭を訪問し、学力の向上を支援するとともに、世帯が抱える問題や不安に対し、助言や支援を行い、世帯の自立を図る。
課題・対応	○利用者数の増加に対応するため、支援員の確保が課題。支援員の登録募集について、市の広報紙、ホームページへの掲載等で周知している。
その他 特記事項	○学習支援員は随時募集しており、登録制にして利用者の増加に対応できるように配慮している。

5 事業実施のポイント ～親と子の生活環境支援を～

学習支援員の戸別訪問により支援対象者の家庭環境の調整を実施

- 学習支援員が利用者宅へ戸別訪問することにより、対象世帯の生活支援も併せて実施し、複合的な課題を抱えている場合には、適切な各支援事業につなぐ。
- 対象者の習熟状況に応じて個別に学習指導を行い、保護者に対しては、子どもの学習の様子について情報交換を行うとともに、保護者からの相談対応も実施する。

利用者とその家族の声

- 自主勉強も進んできました。
- なかなか一人で学習に取り組めなかったが、勉強をする時間ができたことが良かった。
- 学習支援員が来てくれることで、家族が送迎しないため、利用しやすい。

6 取り組んで良かったこと

○学習支援利用者から、「子どもの学習習慣が身についた」「効果的であった」という意見をいただき、高校進学につなげられたこと。